

ISO取得方法学が

中小建設業向けセミナー

水戸・土浦



中央会はこのほど、水戸市と土浦市で中小建設業向けISOセミナーを開いた。中小建設業を取り巻く経営環境は、長引く景気低迷などによる受注の減少などにより非常に厳しい状況にある。

このような中、中小建設業が勝ち残っていくための一つの手段として、自社の経営の合理化・効率化を図れるとともに、受注活動の上でも大きな効果がある「ISO」の取得が考えられる。しかしながら、中小企業においては、その必要性は感じているものの、人的・資金的などの面で取得に向けて踏み切れない状況にある。

そこで今回は、経営創造研究所・代表取締役の松本幸雄氏Ⅱ写真Ⅱ（ISOコンサルタント・ISO主任審査員・中小企業診断士）を招き「中小建設業におけるISO取得の必要性とその手順」をテーマにセミナーを実施した。

同氏は「ISOの取得は力ネがかかる、人も必要、取得後も書類のファイルばかり増えて大変だ」というイメージを持っている人が多い。しかし、中小企業、さらには自社に合ったマニュアルなどを作成すれば、比較的容易に取得できる。しかし、取得だけを目的にするのではなく、取得することで業務の改善・点検を実践することが重要」と説明。

さらに「組合などのグループを活用して、共通部分を共同で行えば、取得経費も削減できる」など、自らが指導して取得した中小建設業の事例などを盛り込んで、分かりやすくISO取得のポイントを話した。

参加者も「中小企業にとって、ISO取得はもっと大変だと思った。現状の業務をベースに改善し、マニュアル化すればISO取得に意欲をみせていた。」



http://www.ibarakiken.or.jp

<1097>